地域	神奈川県横浜市	認定日	平成30年6月8日	3－30－300
事業分類	情報通信	テーマ分類	IT	

事業名：運輸業界向け人工知能搭載型運転危険予兆リアルタイム検知サービスの開発

○事業概要

安全対策が急務となっている運輸業界では、交通事故防止や安全運転指導への活用を目的として、ドライブレコーダの導入が進んでいる。しかし、安全運転指導に活用するには、回収された膨大な映像データを目視で確認し、ヒヤリハットの場面などを切り出す必要があるため、ほとんど活用できていないのが実情である。また、現在のドライブレコーダは、事故発生後の検証には有益であるが、交通事故を未然に防止する機能は持ち合わせていない。本事業のコンセプトの第1は、人工知能(AI)を活用し、膨大な映像データの中から、ヒヤリハットの場面を自動的に抽出し、安全運転指導への活用を促進するサービスを提供することである。コンセプトの第2は、第1の学習を通じて得られた知見をエッジ側(車載器)のAIに移植することにより、危険予兆と違和感をリアルタイムに認識し、ドライバーへ警告するサービスを提供することである。この二つのコンセプトの相乗効果によりAIが強化され、警告できるヒヤリハットが増えるなどサービスの付加価値は継続的に向上する。

事業推進体制

- 技術支援：横浜国立大学 長尾研究室 →
- 評価支援：京葉流通倉庫㈱ →
- 評価支援：センコー情報システム㈱ →
- 評価支援：横浜市交通局 →
- 製造販売支援：㈱T社 ⇄
- 金融支援：城南信用金庫 →

連携体の構成

ビジネスモデル・AIコア技術

㈱メビウス
（神奈川県横浜市）

- AI技術
- 事業統括
- 試作開発
- 販路開拓

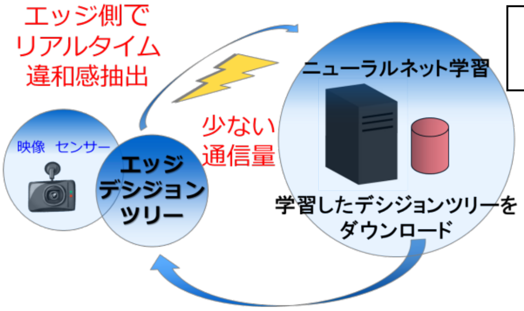
映像認識技術協力

㈱サイヴァース
（千葉県佐倉市）

- 映像認識技術

支援予定メニュー

①補助金
②低利融資（政策公庫）
②信用保証
③特許料減免



エッジ側でリアルタイムに違和感を
サーバへアップロードし、AIを強化する

右前方のバイクが、トラックを避けるために割り込んでくる危険性大

AIにより画像の「違和感」ならびに
「危険」を認識し、警告する